

みどり

第43号

By Landscape Architecture

2026 新春号



第7回みどりの景観フォトコンテスト入賞作品
撮影者：ぼせいどん氏



一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会
<http://www.hokuzoukyou.or.jp>

みどり

By landscape architecture

2026 第43号

目次

巻頭挨拶

(一社)北海道造園緑化建設業協会 会長
北海道開発局長
北海道知事
札幌市長

嘉屋幸浩 1
遠藤達哉 2
鈴木直道 3
秋元克広 4

2025 年 後期事業の主なもの

研修等の事業

札幌工科専門学校での出前講座	5
札幌工科専門学校 現場見学会	6
若手経営幹部研修会	7
庭園樹剪定技術講習会（札幌支部）	9
第1回 安全パトロール《街路樹剪定》（札幌地区）	10
第2回 安全パトロール《公園工事》（札幌地区）	10

普及啓発等の事業

造園技術講演会	11
緑麗会 大通花壇造成	12
緑麗会 大通花壇の撤去作業と意見交換会	13

要望活動の推進	14
---------------	----

令和7年度 地区懇談会（札幌支部）	17
-------------------------	----

令和7年 秋の褒章伝達式	18
--------------------	----

令和7年 建設事業関係功労者等 国土交通大臣表彰 表彰式	18
------------------------------------	----

2025 年 後期事業の主なもの（関係団体）

現場見学会（北海道造園懇話会）	19
-----------------------	----

令和7年度 若手経営幹部研修会幹事会 東京先進事例視察報告	20
-------------------------------------	----

北造協同好会の活動報告	25
-------------------	----

協会の動き 2025年7月～12月	27
-------------------------	----

協会組織	28
------------	----

会員名簿	29
------------	----

編集後記	32
------------	----

総務委員長 廣 部 修 平



新年ごあいさつ

一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会 会長
嘉 屋 幸 浩



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。この一年が皆様にとって、素晴らしい年になりますよう、心から祈念しております。また、平素より協会運営に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

冒頭、私事で大変恐縮ですが、昨年の令和7年秋の褒章に際し、黄綬褒章を拝受いたしました。これもひとえに、皆様方の心温かいご指導ご高配の賜物と深く感謝いたしております。

今後は、この栄誉を心に刻みご厚情にお応えするよう一層の精進を致す所存でございます。この場を借りてお礼申し上げます。

さて昨年の気象条件は大変厳しく夏の平均気温が統計開始以降で最も高くなったと発表があり、北海道でも北見で39℃を記録しました。この猛暑が関係しているかは定かではありませんがクマ出没で被害が多発しており、熱中症対策、クマ対策など私たちの働き方にも大きな影響を及ぼしました。

さらには、12月に入り青森で震度6強、函館でも5強と大きな地震が来しました。

能登に続き東北、北海道の地域は予断を許さない状況となっており、もし災害が起きた時には私も即座に出動し対応出る体制を今一度見直しておかなければならないと思っております。

年々多岐にわたる課題が出てきますが、協会としましては、より一層の期待に応えるべく造園業界においては引き続き働き方改革への対応、担い手の確保、育成対策にしっかり対応していかなければなりません。これらの課題の多くは、一企業では解決出来ないものもあり大きな変化の時代です。今年協会は50周年を迎えますこれを機に業界が大きく飛躍するには協会の役割はますます重要となります。今後とも造園建設業の発展と社会的使命を果たすべく、緑を通じて、地域社会にとって存在意義のある団体であるよう、努力を重ねてまいる所存でございます。

本年も皆様方のご指導、ご協力、ご支援を宜しく願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶

国土交通省 北海道開発局長
遠 藤 達 哉



明けましておめでとうございます。

謹んで新年のお喜びを申し上げますとともに、平素から北海道開発行政の推進に特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年7月に北海道開発局長を拝命し半年が経ちましたが、昨年を振り返りますと、私としては、北海道総合開発計画の第9期計画（以下、「第9期計画」）の取組の推進に力を尽くした1年でした。

前職で第9期計画推進のための計画推進部会の立ち上げに関わり、有識者の方々と様々な議論を交わす中で、改めて北海道のポテンシャルの大きさを感じました。食料安全保障の観点からも、北海道の安定した高い食料供給力を期待されていると思いますし、観光立国を目指す上でも北海道の力が必要とされています。さらには、2050年カーボンニュートラルを目指していくためには、北海道に存在する豊富な再生可能エネルギーを最大限活用することが求められていると思います。このようなポテンシャルを活かし、北海道が発展し、さらに全国に貢献をしていくためには、価値が生み出される北海道の生産空間をしっかりと維持発展させていかなければならないと考えます。そのためには、人流や物流のネットワーク等のインフラ整備を始めとして、様々な取組をしっかりと進めていくことが必要です。

インフラ整備における昨年のトピックは、昨年3月の後志自動車道の仁木IC～余市ICの開通が挙げられます。この開通により、後志地域と札幌市、新千歳空港とのネットワーク機能の強化が図られ、物流強化、観光振興、救急搬送の安定性・速達性向上等の効果が期待されています。また、道東自動車道（以下、「道東道」）の阿寒IC～釧路西IC間は令和6年12月に開通し、開通から1年が経過しました。この開通により、阿寒IC～釧路西IC間及び並行する国道における死傷事故が約4割減少したほか、北海道で初めて線状降水帯が発生した昨年9月の大雨によるJRの運休時には、道東道を利用した旅客・貨物の代替輸送が行われ、人流・物流の維持に貢献しました。さらに、令和5年及び令和6年に函館港・小樽港におけるクルーズ船対応岸壁が完成・供用し、令和7年の両港のクルーズ船寄港回数は過去最高の108回となり、コロナ後の観光を支える即戦力のインフラとして寄与しています。

今年も引き続き、第9期計画を踏まえ、社会資本整備を着実に進めていくことが私に与えられたミッションと考えています。

また、アイヌ文化の復興拠点である「民族共生象徴空間（ウポポイ）」は、昨年7月に開業5周年を迎え、開業から160万人以上の多くの方々にご来場いただきました。このたび地元・北海道をはじめとした皆様のご支援、ご協力に感謝して、令和8年3月末までの間、「ウポポイ開業5周年特別イベント」が実施されております。北海道開発局としても、より多くの方々がアイヌ文化を体験し、民族共生の理念に共感してもらえるよう、引き続き関係機関と協力してウポポイの誘客促進に取り組んでまいります。

北海道総合開発計画は、北海道の開発を通じて全国の課題解決に貢献することを使命としており、北海道の強みと価値を糧に、明治以降の開拓の歴史の中で培われてきたフロンティア精神を再び発揮し、食料安全保障の確保、観光立国の推進、2050年カーボンニュートラルの実現という我が国の課題解決、ひいては我が国の豊かな経済・社会づくりに貢献していきたいと考えております。

結びになりますが、皆様のご健勝とご発展をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和8年 知事年頭所感

北海道知事

鈴木直道



新年明けましておめでとうございます。皆様には、日頃より道政の推進にご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、戦後80年を迎える中、北方領土の早期返還に向け、ご高齢となられた元島民の方々の切実な思いに寄り添い、全ての府省と都府県のご協力を得て全国で署名運動を展開しました。今後も粘り強く取組を続けてまいります。

また、長引く物価高により、道民の皆様の生活や事業者の方々の経営が非常に厳しい状況にある中、累次の経済対策を実施してきており、引き続き必要な対応を進めてまいります。

さらには、様々な環境変化で生じる課題やリスクへの対応が求められた年でした。カムチャツカ半島付近の地震を踏まえた津波避難対策や、青森県東方沖の地震とその後初めて発表された北海道・三陸沖後発地震注意情報への対応、道警察や自衛隊との連携などによるヒグマ対策の強化、養鶏場での高病原性鳥インフルエンザの防疫措置に取り組んだほか、諸外国の政策変更によるグローバルリスクにも対応してまいりました。

そして、新たに制定した北海道こども基本条例に基づき、社会全体で子育てを支える地域づくりを進め、持続可能な医療提供体制の構築にも取り組んできたところです。

泊発電所3号機については、道民の皆様からいただいた声、関係自治体のご判断やご意見、そして道議会での議論を踏まえ、熟慮を重ね、再稼働に同意することとしました。原発の安全の追求には終わりはないとの認識のもと、安全対策などを国や北電に申し入れ、道として防災対策に一層取り組んでまいります。

一方、新千歳空港の旅客数が開港以来最多となるなど観光需要が回復してきている中、北海道のシンボルでもある道庁赤レンガ庁舎が大改修を終え、リニューアルオープンから1か月で10万人以上の方々にお越しいただきました。引き続き北海道の歴史・文化や観光情報の発信拠点として愛される施設となるよう取り組んでまいります。

大阪・関西万博では、200名超の踊り手によるアイヌ舞踊が世界の方々に披露されました。また、大盛況となった全国菓子博（旭川）や、初開催の北海道豊かな海づくり大会（小樽）、秋の大収穫祭（札幌）を通して生産者と消費者がつながり、本道の食の豊かさを感じていただけたと思います。

GXやAI-DX産業の集積への動きも急速に進み、ラピダス社の次世代半導体については、4月にパイロットラインが稼働し、3か月後にはメイドイン北海道の基幹部品の試作に成功しました。

アジア最大級のAIデータセンターが着工し、本道に陸揚げ拠点を新設する国際海底通信ケーブル事業が国の助成事業に採択され、松前沖と檜山沖が道内初の洋上風力発電の促進区域となるなど、これまでの挑戦が着実に具現化しています。

昨年、国は、経済、食料、エネルギーの安全保障に対し戦略的に投資する方針を掲げましたが、こうした分野で我が国をリードできるのが、まさに北海道です。新しい年は、この追い風を捉え、北海道の未来への戦略を描き、本道の存在感を一層高めていきたいと考えています。

地球規模の気候変動により頻発する自然災害など様々なリスクから道民の皆様の命と暮らしを守ることを最優先としつつ、ゼロカーボン北海道の先を見据え、地域との共生を前提とした良質な投資を呼び込み、環境と経済の好循環の実現を目指すとともに、グローバルな視点に立ち、市町村の特色ある取組を支援し、本道が未来に向けて成長することで、日本の発展にも貢献していきます。

地域の課題解決や新たな産業創出に向けては、半導体やデータセンターといった産業の振興・集積をトリガーに、北海道を実証フィールドとしてAIの活用を積極的に推進し、効果を全道に波及させてまいります。

農林水産業については、生産力向上と持続的発展を両立させ、食料供給地域としての役割を果たすとともに、北海道の「食」の魅力を国内外に発信します。また、4月から導入する宿泊税を有効に活用し、観光の高付加価値化や受入体制の充実強化等に取り組みます。

間もなく、ミラノ・コルティナ冬季オリンピック・パラリンピックが開幕します。本道ゆかりの選手の活躍を心より願っています。

北海道という挑戦の大地で生まれ、成長に向けて灯してきた希望の種火を、皆様と大切に大きく育て、北海道を新たなステージに押し上げていくために全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして大きな飛躍の年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年頭あいさつ

札幌市長

秋 元 克 広



新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでごあいさつを申し上げます。

私が市長に就任してから十年半あまりが経過し、三期目の任期も終盤に差しかかります。急速に進む国際情勢の変化や物価高、少子高齢化に伴う人手不足などにより、市政を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、引き続き、私の思い描く「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」の実現に向けて、今年も全力で取り組んでまいります。

さて、昨年を振り返りますと、北海道初となる大規模商用水素ステーションが開所されたほか、GX産業の集積や金融事業の強化集積のため、地方税の課税の特例制度「GX推進税制」の運用を開始するなど、日本の再生可能エネルギー供給基地、世界中から資金・人材・情報が集積するアジア・世界の「金融センター」の実現に向けて、大きく歩みを進めることができました。

また、大和ハウス プレミストームでeスポーツの世界大会「ALGS Year 4 Championship」をアジアで初めて誘致し、国内外から延べ三万四千人以上の皆さまにご来場いただいたほか、美食の街として知られる、スペイン・サンセバスティアン市と食・映画分野で連携協定を結ぶなど、国際都市札幌としての魅力を発信することができました。

さらに、令和六年度から段階的に拡大していた子ども医療費助成の対象を高校生世代までに拡大したほか、誰もが互いに個性を尊重され能力を発揮できる共生社会の実現を目指して「札幌市誰もがつながり合う共生のまちづくり条例」を制定するとともに、児童虐待相談の増加や一時保護の需要増加への対応を行うため、市内で二カ所目となる「札幌市東部児童相談所」を開設しました。

この他、雪との共生や除排雪の手法などについて審議する「札幌市雪対策審議会」を設置し、持続可能な雪対策についての検討を開始しました。

本年は、三月から、本市や道内の金融機関が参画し、道内のGX事業に投資する官民ファンド「スパークス札幌・北海道GXファンド」の運用が開始されます。このファンドを通し、GX産業への投資の呼び込みと金融機能の強化・集積を一層図ってまいります。

また、eスポーツの世界大会「ALGS」が、昨年に引き続き、本市で開催されます。期間中のライブ配信やメディア報道を通じて「サッポロ」の名前が世界中に発信されることで「eスポーツの聖地」としての国際的な知名度が向上することを期待しています。

四月からは、「歩く」「人と会う」「健康管理」などの身近な健康行動に見える化する健康アプリ「アルカサル」の本格運用を開始し、市民の皆さまの健康寿命の延伸につなげてまいります。

さらに、北海道新幹線の札幌延伸を見据えた都心周辺の再開発や企業立地が進んでいる中で、増加が見込まれる交通需要に対応する「新たな公共交通システム」の導入に向けた実証実験を行うなど、持続可能な公共交通ネットワークの維持に取り組んでまいります。

昨年市内で出没が相次いだヒグマについては、市民の皆さまの安全・安心に向けて、侵入抑制策や出沒対応を引き続き行なってまいります。

今後、本市は、人口減少やそれに伴う市内経済規模の縮小、税収の減少、社会保障費の増大など数多くの課題に直面します。多様化するさまざまな社会課題に迅速に取り組んでいくためには、行政のみならず、市民・企業の皆さまとの協働が必要不可欠です。皆さまには、引き続き、ご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、本年が皆さまにとって、素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



■ 2025 年 後期事業の主なもの ■

■ 研修等の事業 ■

札幌工科専門学校での出前講座

日 時：7 月 28 日（月） 10：30 ～ 11：55

場 所：札幌工科専門学校

受講者：札幌工科専門学校

造園緑地科 1 年生 7 名、2 年生 8 名

出席者：《講師》(株)南香園 廣部 修平 氏

(株)横山造園 吉田 巧 氏

(株)園建 嘉屋 悠希 氏

《運営》畑山副会長、加藤専務理事

内 容：1 主催者挨拶：畑山副会長

2 講義①「造園工事における施工管理について」 講師：(株)南香園 廣部 修平 氏

3 講義②「造園工事の施工事例」 講師：(株)横山造園 吉田 巧 氏

4 講義③「若手技術者として」 講師：(株)園建 嘉屋 悠希 氏

5 ディスカッション（廣部・吉田・嘉屋の各講師）

6 質疑応答（廣部・吉田・嘉屋の各講師、畑山副会長）





札幌工科専門学校 現場見学会

日 時：7 月 28 日（月） 14：10～16：00

場 所：①防災・安全交付金事業 新川見はるかす緑地再整備工事
（北区新川西 2 条 6 丁目 施工者：㈱市川造園）
②防災・安全交付金事業 石山東公園ほか 2 公園再整備工事
（南区石山東 5、6 丁目 施工者：日本緑化工㈱）

受講者：札幌工科専門学校 造園緑地科 1 年生 7 名、2 年生 8 名

出席者：《現場代理人》㈱市川造園 井村 義文 氏、日本緑化工㈱ 大星 賢明 氏
《運営》畑山副会長、加藤専務理事



①新川見はるかす緑地 見学



①新川見はるかす緑地 見学



②石山東公園ほか 2 公園 見学



②石山東公園ほか 2 公園 見学



令和7年度 若手経営幹部研修会

日時：11月21日（金） 15：00～17：00

場所：①染物体験：(株)野口染舗（白石区菊水8条2丁目2-9）

②講 話：同上

③懇 親 会：極薄ラムしゃぶ専門 工藤羊肉店2号店（中央区南5条西5丁目）

テーマ：和を学ぶシリーズ ～第2弾～「染物」

参加者：15名（会員13名・事務局2名）

【①工場見学】14：30～15：30

「染物体験」～手ぬぐい、ハンカチから染めるものを選択し、実体験

説 明：(株)野口染舗 取締役室長 野口 繁太郎 氏

→(株)野口染舗の事務室、工房、商品展示室を見学

【②講 話】16：30～17：00

講 師：(株)野口染舗 取締役室長 野口 繁太郎 氏

→独自ブランドの創出の経緯と現状について

日本人と着物の間に出来てしまった距離を縮めることをブランドコンセプトに「Shi bun no san」を創設、北海道のキモノブランドとしての挑戦を行っている。キモノの他にも、モノを大切にする文化を次世代に繋げていくことを目指して、洋服（ショートコートの染め替え）や北海道らしく白樺を染料として使用し染め上げたバック（DEEN & DELUCA）が、東京の三越伊勢丹デパートでの販売や通信販売が好調で2,500個が即日完売したとのこと。





【③懇親会】 17:30 ~ 19:30

体験・講話で学んだ知識を踏まえつつ、おいしいお酒とともに若手同士で情報交換・親交を深める良い場になったと感じた。





庭園樹剪定技術講習会（札幌支部）

日 時：9 月 19 日（金） 9：30 ～ 15：00

場 所：平岡樹芸センター（清田区平岡 4 条 3 丁目）

講 習：落葉樹（モミジほか）の剪定

講 師：（一社）札幌造園協会 理事長 奥内 尚史 氏

札幌造園技能士会 鈴木 拓也 氏

札幌造園技能士会 福井 哲也 氏

参加者：12 名（北造協 11 名・札幌造協 1 名）

共 催：（一社）札幌造園協会





第1回 安全パトロール《街路樹剪定》(札幌地区)

日時：9月12日（金） 13：30～15：40

場所：①豊平区西岡中央線（福住桑園通～羊ヶ丘通／施行者・路線担当（株真鍋造園）
②清田区清田通（北野2条2丁目付近／施行者・路線担当（株真栄造園）

参加者：26名（会員17名・札幌市9名）



現場① 豊平区西岡中央線



現場② 清田区清田通

第2回 安全パトロール《公園工事》(札幌地区)

日時：10月16日（木） 13：30～16：00

場所：①国庫補助事業 西岡中央公園施設改修工事（豊平区西岡1条7丁目／施工者：(株)園建）
②新琴似市民運動広場造成工事〔Bエリア〕（北区新琴似町769番2／施工者：(株)コクサク）

参加者：22名（会員16名・札幌市6名）



現場① 西岡中央公園施設改修工事



現場② 新琴似市民運動広場造成工事



■ 普及啓発等の事業 ■

造園技術講演会

日 時：11 月 7 日（金） 13：30 ～ 17：00
場 所：グランドメルキュール札幌大通公園
2 階「ハynesホール」
（札幌市中央区北 1 条西 11 丁目）
参加者：83 名（申込 103 名）



【第 1 部】「ランドスケープと GREEN × EXPO2027」

講 師：五十嵐 康之 氏
（横浜市脱炭素・GREEN × EXPO 推進局理事、GREEN × EXPO 協会参与－推進戦略担当）

《講演要旨》

都市公園制度の嚆矢となる太政官布達 16 号から 150 年余。施設の老朽化や少子高齢化社会という大きな潮流を受け、転換の起点となった「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園検討会」や「都市公園の柔軟な管理運営の検討会」、最近のまちづくり GX や生物多様性への対応や法制度の改正などを背景ととともに概説していただきました。

また、「幸せをつくる明日の風景」をテーマに、環境と共に生きるひと・企業・まちの主流化を目指す GREEN × EXPO2027（国際園芸博覧会）のめざすものや会場計画の検討状況などをご紹介します。



五十嵐 康之 氏

【第 2 部】「沖縄県の沿道景観形成の取組と考え方について」

講 師：下地 建 氏（沖縄県土木建築部 道路管理課 沿道景観推進室長）

《講演要旨》

昭和 50 年代後半から平成中期にかけて沖縄県では、緑化による沖縄らしい道路景観を創出することを目的に、道路植栽の整備を推進してきました。一方、沖縄県の道路維持予算は財政難の状況によって、平成 7 年度をピークに減少傾向となり、限られた予算の中で効率的な植栽管理が課題となっております。また沖縄県は、わが国唯一の亜熱帯地域であり、通年で繁茂する雑草対策についても積年の課題となっているとのことです。

本講演では、沖縄県の道路植栽の現状と課題、沿道景観形成の取組と考え方について、ご講演いただきました。



下地 建 氏



第1部 五十嵐講師



第2部 下地講師

緑麗会 大通花壇造成

日時：8月22日（金） 9：00～11：30

場所：大通5丁目・南西花壇（ボランティア花壇）

造園業界と業界で活躍する女性のPRのため、「造園業界の女性だけで作る花壇」（ボランティア花壇）を出展。6月造成花壇の一部植替え・切り戻し作業、雑草除去作業を行いました。

コリウスの生長が著しかったため大胆にカットして、すっきりとした見た目となり、植替えした青・白の花も映える花壇となりました。



雑草も伸びています



雑草・枯れた花苗の除去作業



刈込バサミでの切り戻し作業



一部花苗の植替え作業



もうすぐ完成です



参加者で集合写真



緑麗会 大通花壇の撤去作業と意見交換会

日 時：10月31日（金） 9：00～11：00

場 所：大通5丁目・南西花壇（ボランティア花壇）

シーズン終了のため、花苗の撤去作業を行いました。

力仕事の枕木の撤去・運搬は、(株)高島造園工業の男性職員の方々が作業して下さいました。

いつもご協力くださり、ありがとうございます。

今年の大通花壇事業は無事に終了しました。来年春、造成作業のご協力をお願いいたします。



花苗の撤去



花苗の撤去



土ならし



枕木撤去の準備



撤去完了の花壇



参加者で集合写真

【意見交換会】

日 時：10月31日（金） 11：30～14：00

場 所：焼肉 徳寿 豊平店

緑麗会 大通花壇の事業終了に伴い、情報交換や今後の事業、来年の活動計画など、緑麗会メンバー・事業に参加して下さいました会員企業にお勤めの女性の皆様と食事をしながら意見交換を行いました。造園業界の女性の輪がどんどん広がっていくのを嬉しく思います。



意見交換会の参加者で撮影

■ 要望活動の推進 ■

（一社）日本造園建設業協会北海道総支部との合同の意見交換（要望）

意見交換（要望） 「憩いと安らぎを与える緑化の推進について」

- ・造園関連予算の安定的な確保
- ・道路緑化の推進
- ・公園等の整備・改修工事の推進
- ・道路・河川などの法面植生工事の分離発注
- ・担い手の確保・育成のための支援の拡大

1 北海道 建設部

日 時 8月22日（金） 13：30～

2 北海道 総合政策部知事室

日 時 8月22日（金） 14：15～

3 北海道 空知総合振興局札幌建設管理部

日 時 8月22日（金） 15：00～

4 国土交通省北海道開発局 網走開発建設部

日 時 10月1日（水） 13：15～

5 北海道 オホーツク総合振興局網走建設管理部

日 時 10月1日（水） 14：30～

6 国土交通省北海道開発局 釧路開発建設部

日 時 10月7日（火） 10：15～

7 北海道 釧路総合振興局釧路建設管理部

日 時 10月7日（火） 11：30～

8 国土交通省北海道開発局 帯広開発建設部

日 時 10月8日（水） 9：30～

9 国土交通省北海道開発局 函館開発建設部

日 時 10月14日（火） 14：00～



北海道建設部 関建設部長へ要望書の手交



知事室との意見交換



札幌建設管理部 松田副局長へ要望書の手交



網走建設管理部との意見交換



10 北海道 渡島総合振興局函館建設管理部

日 時 10月14日（火） 15：30～

11 国土交通省北海道開発局 室蘭開発建設部

日 時 10月17日（金） 10：00～

12 北海道 胆振総合振興局室蘭建設管理部

日 時 10月17日（金） 11：00～

13 国土交通省北海道開発局 旭川開発建設部

日 時 10月21日（火） 10：15～

14 北海道 上川総合振興局旭川建設管理部

日 時 10月21日（火） 11：30～

15 国土交通省北海道開発局 小樽開発建設部

日 時 10月28日（火） 13：30～

16 北海道 後志総合振興局小樽建設管理部

日 時 10月28日（火） 14：45～

17 国土交通省北海道開発局 札幌開発建設部

日 時 10月30日（木） 11：00～

18 北海道開発局

日 時 11月5日（水） 11：00～

19 郵送による要望を行った道の出先機関

北海道 宗谷総合振興局、十勝総合振興局、留萌振興局



釧路開発建設部との意見交換



帯広開発建設部 空閑部長へ要望書の手交



室蘭建設管理部との意見交換



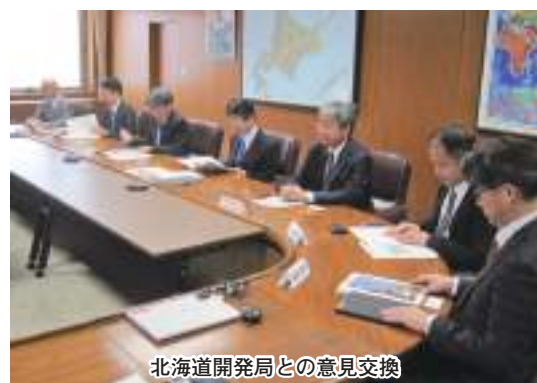
旭川建設管理部との意見交換



小樽開発建設部 中島部長へ要望書の手交



札幌開発建設部との意見交換



北海道開発局との意見交換



自民党道連「団体政策懇談会」

日時：10月9日（木） 14：30～

場所：北海道議会 4階 自民党大会議

対応者：花崎道連政調会会長、佐藤道連政調会長代行、佐々木道連政調会筆頭副会長、滝口道政調会副会長、桧垣道連政調会副会長、植村道政調会副会長、高田道連政調会副会長、千葉道連政調会副会長、鶴羽道連政調会副会長、戸田道連政調会副会長

[道連・会派所属議員] 船橋道議会エネ特委員長、安住議員総務委員長、板谷政審委員、木下政審委員、武市政審委員、伊東政審委員

訪問者：嘉屋会長、四宮副会長、渡邊理事、加藤専務理事、古源常務理事



札幌市造園緑化推進議員連盟との懇談会・懇親会（札幌支部）

日時：12月3日（火） 17：45～

場所：札幌グランドホテル4階 「はまなす」

来賓：札幌市建設局長 小泉 正樹氏

出席者：[札幌市議会議員] 高橋副会長、飯島幹事長、北村事務局長、こじま議員、佐々木議員、松井議員、三神議員、山田議員

[北造協札幌支部] 四宮支部長 他 会員7名

古源常務理事 計17名

内容：1 札幌市長あて要望書の説明

2 自由意見交換



四宮支部長 懇談会冒頭あいさつ



高橋議連副会長 懇談会返礼



小泉建設局長 懇親会あいさつ



飯島議連幹事長 乾杯あいさつ



懇親会の様子



懇親会の様子



令和7年度 札幌市への要望活動（札幌支部）

日時：12月12日（金） 11：00～

場所：バスセンタービル1号館6階 みどりの推進部 会議室

対応者：浜岸みどりの推進部長、石橋みどりの管理担当部長、後藤みどりの推進課長、乾プロジェクト担当課長、大橋造園担当課長、濱岡みどりの管理課長、西村みどりの活用担当課長、奥田事務係長、大久保事務職員 計9名

出席者：四宮支部長、畑山・喜多・廣部の3副支部長、細田事業委員長、古源常務理事 計6名



令和7年度 地区懇談会（札幌支部）

日時：7月23日（水） 懇談会 15：30～16：30／懇親会 17：30～19：30

場所：（懇談会）太平洋興発ビル6階 会議室／（懇親会）札幌市内飲食店

来賓：札幌市建設局みどりの推進部みどりの管理課長 濱岡 次郎 様
札幌市建設局みどりの推進部みどりの管理課樹木担当係長 渡部 昭彦 様

参加者：懇談会 21名／懇親会 18名



四宮支部長 あいさつ



来賓 濱岡氏（左）と渡部氏



会場の様子

令和7年 秋の褒章伝達式

日時：11月21日（金） 11：20～

場所：国土交通省 10 階 共同大会議室（東京都千代田区霞が関 2-1-3）

受章：黄綬褒章 業務精励《造園工事業》

受章者：（一社）北海道造園緑化建設業協会
会長 嘉屋 幸浩 氏（㈱園建・代表取締役）

多年にわたり仕事に励んできた、人々の模範たるべき人に対して贈られています。



受章おめでとうございます！



令和7年 建設事業関係功労者等 国土交通大臣表彰 表彰式

日時：7月10日（木） 11：00～

場所：国土交通省 10 階 共用大会議室 A（東京都千代田区霞が関 2-1-3）

表彰：建設事業関係功労者等 国土交通大臣表彰

受賞者：（一社）北海道造園緑化建設業協会 副会長 四宮 繁 氏（㈱四宮造園・代表取締役社長）

多年、造園工事業に精励するとともに関係団体の役員として地方業界の発展に寄与した者に、贈られています。



受賞おめでとうございます！





■ 2025 年 後期事業の主なもの（関係団体） ■

令和7年度 現場見学会（北海道造園懇話会）

日 時：8月30日（土） 13：45～17：00

場 所：北3条広場～道庁庭園～道庁赤れんが庁舎（リニューアル）～清華亭付近

ツアーガイド：笠 康三郎氏（有緑花計画 代表）、杉浦 正人氏（札幌建築鑑賞会 代表）

参加者：見学会 18名



令和7年度 若手経営幹部研修会幹事会 東京先進事例視察報告

日程：令和7年12月2日（火）～3日（水）
視察場所：東京23区、立川市

はじめに

（一社）北造協 若手経営幹部幹事会のメンバーによる視察研修が令和7年12月2日（火）～3日（水）に東京23区、立川市で行われた。研修の目的は、東京都内の造園等に関する先進事例の視察と関係者との交流・意見交換・情報収集にあり、結果として、北海道では体験出来ない貴重な経験と刺激をいただくこととなった。

最後になりますが、（一社）北海道造園緑化建設業協会と（一社）日本造園建設業協会北海道総支部から、今回の視察研修に際して、多大なるご理解とご協力を賜りましたことを感謝申し上げます。

（一社）北海道造園緑化建設業協会 若手経営幹部研修会 幹事長 市川 秀一

第1日目【12月2日（火）】

日本橋茅場町の屋上庭園 エディブル カヤバチョウ（カヤバエン） 11:00～

平和不動産（本社中央区）が日本橋兜町・茅場町の街づくりの一環として開発し、東京証券会館屋上に整備され、令和4年4月にオープンした。約200種の食べられる植物を育てる都市型菜園として、教育や交流、環境保全の拠点として、多世代・多主体の共創を促し、都市の緑の再構築と循環型社会への貢献を目指している。

また、同施設は、メンバーシップ制度を設けており、活動に共感し、活動を応援してくれる企業と協賛し、周辺企業の社員や近隣の小学校の児童たちも楽しめ、交流の場となる空間を創出することを目指しているとのことであった。

現在のメンバーシップ企業は、証券会社、医療機器メーカー、大手倉庫会社、出版社など5社で、地元中央区立阪本小学校への事業提供も行っている。



植物の茎、葉、果実などで造った堆肥、左の状態から半年で完成



(株)ユニバーサル園芸社の藤田さんは、「大都会の都心部でも気軽に土に触れたり食育の場ができること」を目標にしていると語っておられました。



食べられる植物たち かぼちゃ、南蛮など



養蜂箱（年間60kg収穫）、取れた蜂蜜は協賛企業の販促品として活用されている。

散策の道？



集合写真



ユニバーサル園芸社
(左から) 金原さん、藤田さん、NPOの方

麻布台ヒルズ（自由視察） 13：30～

令和5年に開業したばかりの新しい複合施設で、オフィス、レジデンス（超高級分譲マンション）、商業施設、高級ホテルを備えた都市空間となっている。建築物のデザインは、前衛的かつ斬新な印象を強く与えるものとなっていた。





六本木ヒルズ（自由視察） 16:00～

ショップ、レストラン、美術館、映画館、展望台の他、日本庭園の毛利庭園、66 プラザ内の多様なパブリックアート群、六本木ヒルズアリーナ、テレビ朝日本社などが集まる六本木のランドマーク的施設となっている。



紅葉真っ盛りの毛利庭園

第2日目【12月3日（水）】

グリーンスプリングス立川視察 11:00～

◇同施設の維持管理を担当している(株)昭立造園 阿部社長、同社緑化事業部 松橋氏から施設の説明と案内を受けた。

◇施設の概要等

同施設が建設された場所は、旧日本陸軍の立川飛行場跡地を戦後、米軍が接收し、長らく在日米軍立川基地として使用していたが、その後、返還され一部が昭和記念公園、国の広域防災基地に活用され、駅周辺をグリーンスプリングス立川として活用している。立川市は、東京都心のベッドタウンと多摩地区の中核都市の二つの側面を持っているが、多世代間の交流の場となるパブリックスペースが不足している現状に有ったが、「空と大地がつながるウェルビーイングタウン」をコンセプトとして都市にも自然にも近い立川市ならではの都市空間創造を目指したとの事。

注目点としては、同地の許容容積率 500% のうち約 150% のみを建築に充て、約 1ha もの緑豊かな広場を創出した。広場は人工地盤となる 2 階レベルに計画、駐車場を 1 階に集約することで、歩車道を



立体的に分離している。隣接する昭和記念公園と歩行者専用道サンサンロードが繋ぎ合わさる空間となっていた。

街区を貫くように X 字の街路を配置。軸線に沿って歩くことで緑量の変化やシークエンスを体感できるような配置計画を策定している。建物は X 字街路の広場を囲むように配置されている。この X 字街路はかつて飛行場の滑走路であった敷地の歴史性や立川市の地勢を研究したうえで計画を策定したとのことであった。

X 字の軸線の先に、長さ 120m の「カスケード」(階段状の小さな滝) を配置。

登った先は周囲の街を見渡せる新しい視点を提供するとともに、玉川上水のせせらぎや川面のきらめきを再現、地域住民になじみある景観を創出している。

同カスケードは遠近法を駆使して下から眺めると同じ幅のように見えるよう設計されている。2 階広場中央の「ビオトープ」は、多摩川の湾曲環境を再現し、絶滅危惧種の水性生物を保全することで子供たちが地域環境を学べるフィールドとして整備された。事業者・施設管理者・植栽管理者がともに植生の変化に応じた質の高い管理水準を維持するため、春夏秋冬の年 4 回、共同巡回を実施しているとの事。

同施設の施工関係者は、(株)立飛ホールディングス、(株)ランドスケープ・プラス、(株)大林組、(株)山下設計、(株)フレームワークス、(株)日比谷アメニスなどとなっている。



集合写真（右から2人目が阿部社長）



昼食時、(株)昭立造園 阿部晋也社長と懇談。

阿部氏の先進的な経営手法の一端を拝聴後、参加者との意見交換では活発な雰囲気の中で率直な対話が行われ、印象に残る懇談となった。

東京駅前広場視察（自由視察） 14：20～

首都東京の厳格口に相応しい荘厳な雰囲気 of 駅前広場が皇居前まで続き、周りの近代的な高層ビル群と相まって先進的な都市空間を演出していた。



皇居視察（一般公開、坂下門⇒乾門）（自由視察） 14：40～

当日、一般開放していた皇居内を視察する機会を得て、皇居内の一部を視察した。



18：30 羽田空港発

20：20 新千歳空港着 解散、帰途



北造協同好会の活動報告

■ 「第2回ゴルフ大会」 (北造協ゴルフ同好会)

日 時：9月18日(木) 7:00 集合／7:35 スタート

場 所：札幌リージェントゴルフ倶楽部 トムソンコース (北広島市島松 462)

参加者：12名

順位	氏 名	所 属	TOTAL	HDCP	NET
優 勝	桑島 健	マルミプラス(株)	85	13.2	71.8
準優勝	久恵 信一	日本体育施設(株)北海道営業所	82	9.6	72.4
3 位	吉田 巧	(株)横山造園	80	6.0	74.0
4 位	大川 澄雄	アルファ電顕(株)	86	12.0	74.0
5 位	米山 浩史	横浜植木(株)北海道支店	86	10.8	75.2

第一回目より参加人数は少なかったですが、みなさん初めての方や何年かぶりのコースだったようで楽しくプレイされていたようです。

それにしてもQさんはすごい！アトラクションのほとんどの旗に名前が・・・。

皆さんも負けずに頑張りましょう！

来年も多くの参加お待ちしております。



優勝の桑島さん(左)と準優勝の久恵さん



参加者全員で記念写真



■ 「秋季船釣り大会」 (みどりの釣同好会)

日 時：10月7日（土） 5：50 出港・12：30 帰港

場 所：積丹余別沖

参加者：8名

順位	氏 名	所 属	3 尾総重量 (kg)
優 勝	佐々木一敏	(株)サンコー緑化	30.0
準優勝	吉村 史明	横浜植木(株)	24.5
3 位	角田 紀貴	(株)サンコー緑化	21.4

秋から冬にかけての日本海は波も荒くなり2度の中止を経ての開催となりました。工事現場の繁忙期であり代替開催ということでメンバーも都度変更となりましたが、船は満席となり本船（第十五龍祥丸）は8名でいざ出港。

釣果は上々でマダラ 1m 級、ホッケ 45cm 級、柳の舞 35cm 級など「良い型」の魚が多く釣れました。1人平均 20～40 匹を釣り上げたようです。2位の吉村氏は「タコ」がかかったようです。

またジギング組の方は 10kg のあるマダラを水深 150m から巻き上げるのに疲労されたようです。何本も釣り上げ腕がパンパン（筋肉痛）になってないでしょうか。10kg 級の大型サイズのマダラが釣り場によって「爆釣」となり、本日もクーラー BOX を 2 つ用意された方が大正解でした。腰を痛めないようお持ち帰りください。保険は入ってますよ～。早朝より皆様お疲れ様でした。気を付けてお帰りください。



優勝の佐々木さん（左）と準優勝の吉村さん



参加者全員で記念写真





協会の動き 2025 年 7 月～ 12 月

7 月

- 4 日 札幌支部 第 1 回事業委員会
- 7 日 札幌支部 第 2 回幹事会
- 10 日 札幌支部 第 1 回総務委員会
- 11 日 第 1 回 50 周年記念事業 式典班打合せ
- 22 日 札幌支部 技術専門部会 工事グループ第 1 回会議
- 23 日 札幌支部 地区懇談会
- 24 日 第 2 回事業推進委員会
- 28 日 出前講座・現場見学会（札幌工科専門学校）

8 月

- 22 日 緑麗会 大通花壇手入れ作業
- 30 日 北海道造園懇話会 令和 7 年度現場見学会

9 月

- 12 日 札幌支部 第 1 回安全パトロール・街路樹剪定編
- 18 日 ゴルフ同好会 第 2 回ゴルフ大会
- 16 日 札幌支部 第 2 回総務委員会
- 17 日 第 2 回 50 周年記念事業 記念誌班打合せ
- 19 日 札幌支部 庭園樹剪定技術講習会
- 22 日 第 1 回植生技術委員会
- 26 日 第 1 回若手経営幹部研修会

10 月

- 7 日 みどりの釣同好会 秋季船釣り大会
- 9 日 令和 7 年度団体政策懇談会
- 16 日 札幌支部 第 2 回安全パトロール・公園工事編
- 31 日 緑麗会 大通花壇撤去作業・意見交換会

11 月

- 7 日 令和 7 年度造園技術講演会
- 21 日 若手経営幹部研修会（和を学ぶ②）
- 12 日 札幌支部 技術専門部会 維持管理グループ第 1 回会議
- 18 日 札幌支部 技術専門部会 指定管理グループ第 2 回会議
- 17 日 北海道造園懇話会 第 1 回幹事会
- 20 日 北海道造園緑化関係団体連絡協議会 令和 7 年度定期総会・幹事会

12 月

- 3 日 札幌支部 札幌市造園緑化推進議員連盟 懇談会・懇親会
- 9 日 札幌支部 第 2 回事業委員会
- 23 日 第 2 回 50 周年記念事業 式典班打合せ
- 24 日 第 2 回総務委員会
- 28 日 札幌支部 札幌市へ緑化推進政策に関する要望

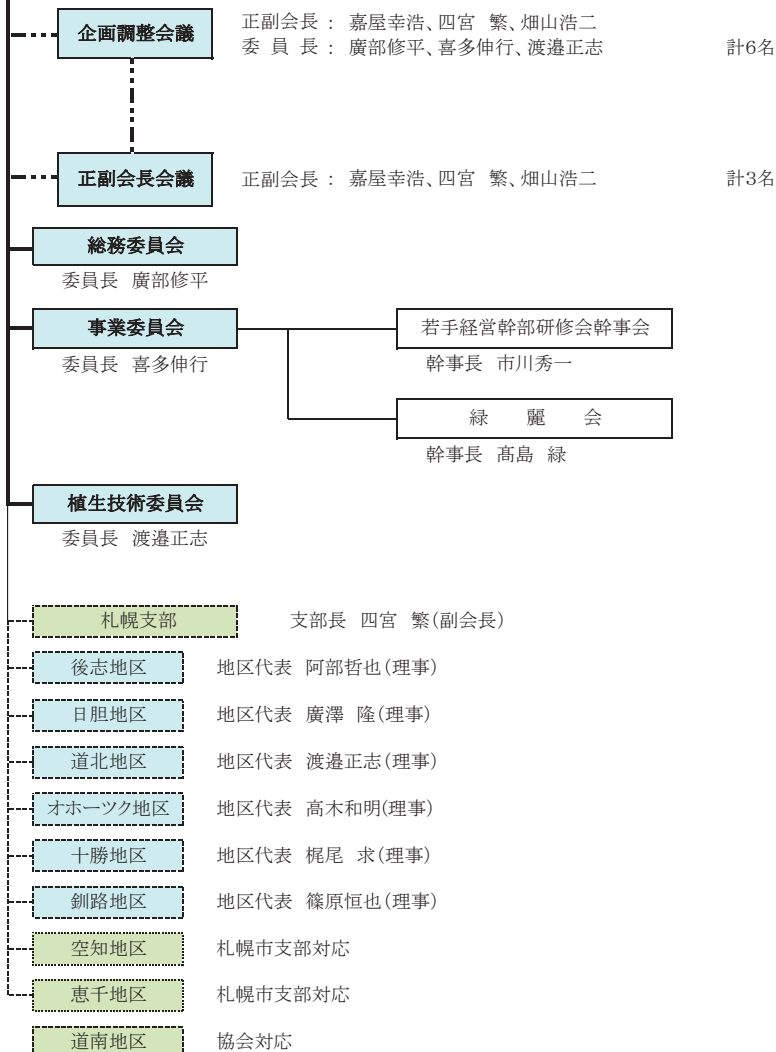


一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会 組織体制図

令和8年1月1日 現在

会 長	嘉屋幸浩
副 会 長	四宮 繁、畑山浩二
理 事	<p>会員理事： 嘉屋幸浩 (株園建)、四宮 繁 (株四宮造園)、畑山浩二 (日本緑化工株)、 阿部哲也 (株阿部新香園)、梶尾 求 (株梶尾花園)、嘉屋幸治 (株蔵田喜芳園)、喜多伸行 (横浜植木株北海道支店)、 佐々木 一敏 (株サンコー緑化)、篠原恒也 (株篠原園芸)、高木和明 (株高木園芸)、武田 久 (株札幌ニット)、 廣澤 隆 (株道南レミック)、廣部修平 (株南香園)、細田洋介 (株細田造園)、渡邊正志 (株緑土興産)</p> <p>学識理事： 加藤建一 (専務理事)、古源靖則 (常務理事)</p>
監 事	<p>会員監事 大川澄雄 (アルファ電建株)、吉村仁志 (北海日植株)</p>

総 会	正会員 69社 (令和8年1月1日現在)
理 事 会	理事 (17名)・監事 (2名) 計19名 (会員理事15名・学識理事2名、会員監事2名)



顧 問	<p>愛甲哲也 (北海道大学大学院農学研究院)、河原正幸 (勇建設株)、棚橋伸男 ((一社) 未来教育サポート)、 福田尚人 (南開成舎)、福原賢二 ((一社) ランドスケープコンサルタンツ協会)、三木正俊 (弁護士)、渡邊直樹 (岩田地崎建設株)</p>
相 談 役	神原喜好、森 正志 (株森造園)

一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会会員

正会員 69社 (令和8年1月1日現在)

会 社 名	代表者名	郵便番号	住 所	T E L
【札幌地区】44社				
(株) 有 末 造 園	有末 美実	〒003-0822	札幌市白石区菊水元町2条5丁目3番1号	(011) 871-2101
アルファ電建(株)	大川 澄雄	〒007-0844	札幌市東区北44条東13丁目2番5号KS44	(011) 741-8611
(株) 市 川 造 園	市川 秀一	〒007-0874	札幌市東区伏古14条3丁目13番10号	(011) 783-5411
(株)岩崎造園土木	倉本 諭	〒007-0894	札幌市東区中沼西4条1丁目3番12号	(011) 790-4577
(株) 岩 本 石 庭	岩本 任功	〒005-0003	札幌市南区澄川3条2丁目5番7号 ブルークビル3F	(011) 833-5128
(株) 園 建	嘉屋 幸浩	〒004-0042	札幌市厚別区大谷地西6丁目2番3号	(011) 891-7111
(株)蔵田喜芳園	嘉屋 幸治	〒004-0878	札幌市清田区平岡8条1丁目13番23号	(011) 886-8235
(株)グリーンメイクハラダ	仙北谷聡子	〒007-0827	札幌市東区東雁来7条2丁目12番12号	(011) 783-4500
(株) コ ク サ ク	早坂 有生	〒062-0052	札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番89号	(011) 851-2111
(株)札幌ニット	武田 久	〒003-0024	札幌市白石区本郷通4丁目南2番9号	(011) 864-3477
(株) 札 幌 緑 興	梶野 陽一	〒004-0002	札幌市厚別区厚別東2条3丁目1番5号	(011) 898-1051
(株)佐藤萬香園	佐藤 伸一	〒001-0024	札幌市北区北24条西15丁目1番7号	(011) 726-2930
(株)サンコー緑化	佐々木一敏	〒003-0828	札幌市白石区菊水元町8条1丁目8番21号	(011) 875-1608
(株) 四 宮 造 園	四宮 繁	〒004-0022	札幌市厚別区厚別南3丁目2番25号	(011) 892-0881
(株) 集 楽 園	小玉三智子	〒005-0801	札幌市南区川沿1条5丁目1番15号	(011) 571-8897
(株) 真 栄 造 園	池田 智仁	〒004-0839	札幌市清田区真栄487番地	(011) 881-3475
(株)真栄緑化土木	橋本 悟	〒004-0831	札幌市清田区真栄1条1丁目15番11号	(011) 881-8951
(株)スペース・デザイン工業	朝倉 久政	〒006-0034	札幌市手稲区稲穂4条5丁目6番12号	(011) 684-1657
(株)高島造園工業	高島 緑	〒004-0812	札幌市清田区美しが丘2条4丁目17番20号	(011) 881-2975
(株) 高 重 造 園	佐和田 匠	〒064-0806	札幌市中央区南6条西26丁目4番1号	(011) 551-1765
(有)タモリ建商	田森 宣行	〒062-0033	札幌市豊平区西岡3条10丁目1番20号	(011) 855-0866
道 央 緑 化 (株)	星野 智	〒002-0854	札幌市北区屯田4条8丁目6番34号	(011) 773-0686
(株)道建緑化工業	川口 敦	〒064-0925	札幌市中央区南25条西11丁目1番12号	(011) 531-0166
(株) 南 香 園	廣部 修平	〒060-0011	札幌市中央区北11条西15丁目1番52号	(011) 747-9266
(株)ニットメンテナンス	川村 光徳	〒003-0023	札幌市白石区南郷通4丁目北4番20号	(011) 863-6870
日本体育施設(株)北海道営業所	金田 隆弘	〒062-0031	札幌市豊平区西岡1条2丁目1番1号	(011) 876-9600
日本緑化工(株)	畑山 浩二	〒002-8028	札幌市北区篠路8条5丁目2番1号	(011) 775-3200
(株) 平 野 造 園	平野 一美	〒003-0027	札幌市白石区本通7丁目北1番23号	(011) 863-2384
(株)プログリーン	斉藤 靖	〒062-0042	札幌市豊平区福住2条10丁目16番5号	(011) 855-2128
(株) 細 田 造 園	細田 洋介	〒005-0841	札幌市南区石山1条7丁目1番14号	(011) 591-3041
北海道秋山造園(株)	大竹 学	〒007-0837	札幌市東区北37条東16丁目3番1号	(011) 785-6115
(株)北海道造園コンサルタント	若林 正明	〒004-0022	札幌市厚別区厚別南3丁目2番24号	(011) 887-9091
北海道三祐(株)	笹浪 圭吾	〒002-0856	札幌市北区屯田6条8丁目9番12号	(011) 773-5121
北 海 日 植 (株)	吉村 仁志	〒001-0023	札幌市北区北23条西7丁目1番33号北海NISSHOKUビル	(011) 707-6201
北方緑化工業(株)	鎌田 浩	〒062-0934	札幌市豊平区平岸4条3丁目6番5号	(011) 811-3897
(株) 真 鍋 造 園	真鍋 昌市	〒062-0020	札幌市豊平区月寒中央通6丁目2番16号	(011) 851-8028
マルミプラス(株)	刈田 晋弥	〒002-8023	札幌市北区篠路3条7丁目5番14号	(011) 771-2438
(株) 森 造 園	森 正光	〒062-0052	札幌市豊平区月寒東2条20丁目8番5号	(011) 851-8534
(株)山吉高島造園	高島 利夫	〒007-0867	札幌市東区伏古7条2丁目3番16号	(011) 781-2235
(株) 湯 川 造 園	湯川 淳	〒004-0842	札幌市清田区清田2条2丁目14番37号	(011) 884-7071

会 社 名	代表者名	郵便番号	住 所	T E L
雪 印 種 苗 (株)	丸田 卓也	〒004-8531	札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号	(011)891-5691
横浜植木(株)北海道支店	喜多 伸行	〒003-0029	札幌市白石区平和通14丁目北2番16号	(011)862-3561
(株) 横 山 造 園	吉田 巧	〒063-0826	札幌市西区発寒6条5丁目5番3号	(011)661-6283
ロンタイ(株)札幌支店	杉山 雄亮	〒062-0932	札幌市豊平区平岸2条4丁目4番2号	(011)823-5780
【空知地区】(2社)				
(株)北海道アトリウム	工藤 克彦	〒079-0313	空知郡奈井江町字奈井江町171番地35	(0125)65-5707
馬 淵 建 設 (株)	久保 隆	〒068-0833	岩見沢市志文町966番地15	(0126)25-6400
【後志地区】(2社)				
(株)阿部新香園	阿部 哲也	〒048-2671	小樽市オタモイ3丁目1番1号	(0134)26-2537
(株)宝 樹 造 園	三栖 裕司	〒048-2672	小樽市塩谷4丁目13番地	(0134)26-0488
【日胆地区】(5社)				
(株)金 谷 造 園	金谷 泰央	〒059-1741	勇払郡厚真町字上厚真219番地4	(0145)28-2537
景 観 緑 化 (株)	宮崎 洋二	〒053-0054	苫小牧市明野新町3丁目7番2号	(0144)55-4165
(株)道南レミック	廣澤 隆	〒053-0052	苫小牧市新開町3丁目4番3号	(0144)82-8661
長 岡 造 園 (株)	長岡 直人	〒053-0055	苫小牧市新明町5丁目29番9号	(0144)55-2736
緑 豊 建 設 (株)	矢部 繁	〒053-0021	苫小牧市若草町1丁目2番7号	(0144)32-7765
【道北地区】(3社)				
(株)石田兼松八興建設	石田 浩一	〒070-0810	旭川市本町2丁目437番地119	(0166)51-3211
北海道グリーン工業(株)	福地 弘明	〒079-8416	旭川市永山6条1丁目2番19号	(0166)22-6850
(株)緑 土 興 産	神戸 和明	〒071-8121	旭川市末広東1条7丁目7番9号	(0166)57-7620
【オホーツク地区】(5社)				
(株) 遠 藤	遠藤登志子	〒091-0004	北見市留辺蘂町上町134番地	(0157)42-3508
(株)高 木 園 芸	高木 和明	〒090-0838	北見市西三輪7丁目711番地12	(0157)33-1226
(株)タ ナ カ	田中 勝則	〒093-0042	網走市潮見2丁目15番1号	(0152)44-4353
(株)緑 翔	井上 宏樹	〒099-1587	北見市豊地22番11号(工業団地)	(0157)66-1030
(株)緑 進	田中 伸宏	〒090-0058	北見市高栄西町9丁目1番18号	(0157)61-0195
【十勝地区】(3社)				
(株)阿 部 造 園	阿部 英輝	〒080-0141	河東郡音更町宝来北1条2丁目2番地	(0155)31-2350
(株)イ ノ タ ニ	猪谷 直樹	〒080-0015	帯広市西5条南30丁目13番地	(0155)24-3073
(株)梶 尾 花 園	梶尾 求	〒080-0033	帯広市西3条北1丁目13番地	(0155)24-0505

会 社 名	代表者名	郵便番号	住 所	T E L
【釧路地区】（5社）				
(株)アヤメ緑化工業	菖蒲 哲也	〒086-1127	標津郡中標津町西7条北4丁目1番地5	(0153)72-8535
大友造園建設(株)	大友 淳	〒084-0917	釧路市大楽毛4丁目3番4号	(0154)57-8226
(株)篠原園芸	篠原 恒也	〒085-0038	釧路市花園町5番4号	(0154)22-3230
(有)摩周植物園	古瀬 廣幾	〒088-3202	川上郡弟子屈町鈴蘭2丁目4番3号	(0154)82-2406
(株)ヨシダ造園緑化	吉田 英司	〒085-0814	釧路市緑ヶ岡2丁目36番15号	(0154)42-5270
【特別会員】（8社）				
(株)アイティエス札幌事業所	河原 健光	〒064-0925	札幌市中央区南25条西12丁目3番23号	(011)520-6800
カネコ種苗(株)札幌支店	石坂 伸彦	〒003-0030	札幌市白石区流通センター1丁目2番15号	(011)861-5659
(株)共成レンテム	石井 丈夫	〒060-0042	札幌市中央区大通西11丁目4-133 南大通ビル新館3階	(011)208-4131
正 栄 機 工 (株)	及川 泉	〒065-0024	札幌市東区北24条東16丁目1番6号	(011)785-8111
(株) 高 倉	遠藤 友二	〒064-0809	札幌市中央区南9条西8丁目2番33号	(011)511-3026
ハスクバーナ・ゼノア(株)北海道支店	辰本 真	〒007-0827	札幌市東区東雁来7条2丁目12番5号	(011)594-8878
富士見工業(株)北海道本部	横山 尚史	〒003-0030	札幌市白石区流通センター5丁目3番20号	(011)866-9377
前田工織(株)札幌支店	吉田 浩一	〒065-0019	札幌市東区北19条東4丁目2番10号	(011)733-3360
【賛助会員】（7社）				
(株)建築資料研究社北海道支店	小路口 隆	〒060-0032	札幌市中央区北2条東4丁目 札幌ファクトリー三条館4階	(011)251-6010
下 村 太 郎		〒059-1275	苫小牧市錦岡813番地	(0144)68-6320
(株)トータルネットワーク	小島 恭平	〒060-0062	札幌市中央区南2条西5丁目31-1	(011)222-2155
(有)ナベックス	渡辺 良彦	〒069-0861	江別市大麻北町518番地78	(011)386-4409
(株)日産フィナンシャルサービス	内村 直友	〒060-0034	札幌市中央区北4条東1丁目2-3 札幌フコク生命ビル1階	(011)796-5523
北海道日産自動車(株)	原田彦工門	〒065-0019	札幌市東区北19条東1丁目2番20号	(011)351-4123
山 下 裕 司		〒007-0895	札幌市東区中沼西5条1丁目5番15号	(011)555-9744

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

編集後記を書くにあたり、例年のことながらこの一年を振り返ってみますと、2025年も多くの出来事があった年であったと感じます。明るい話題としては、スポーツの分野で日本人選手の活躍が続き、多くの感動や勇気を与えてくれました。世代交代が進む中で若い選手が世界の舞台で躍動する姿は、私たちにとっても大きな励みとなりました。

また、春から開催された大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、多くの来場者を迎え、日本の技術や文化を国内外に発信する場となりました。会場では、緑や水を生かした空間づくりが随所に見られ、自然と調和した都市のあり方や、「みどり」が人の心や暮らしに与える価値を改めて実感する機会となったように思います。

こうした万博の取り組みは、2027年に開催が予定されている国際園芸博覧会へとつながっていくものと感じています。花と緑を通じて、環境や景観、そして人と自然との関係を見つめ直すこの博覧会は、造園緑化業に携わる私たちにとって、自らの技術や経験を社会に示す大きな舞台となることでしょう。万博で描かれた未来の姿を、より身近な地域の「みどり」として形にしていけることが、これからの私たちの役割ではないでしょうか。

一方で、気候の変化や自然環境を取り巻く状況は年々厳しさを増しており、みどりの果たす役割はますます重要になっています。公園や街路樹、庭園といった身近な空間を通じて、人々の暮らしに潤いや安心を届けてきた造園緑化業の使命を、改めて感じる一年でもありました。

最後になりますが、総務委員会では広報誌「みどり」をはじめとした情報発信を通じて、業界の取り組みや会員の皆様の活動を積極的にお伝えしてまいりたいと考えております。関係者の皆様には、寄稿やアンケートへのご協力をお願いすることもあるかと存じますが、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって実り多く、希望に満ちた一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

総務委員長 廣部 修平

■表紙写真

第7回みどりの景観フォトコンテスト入賞作品

『GREEN GREEN』 撮影者：ぼせいどん氏

撮影場所：紋別市緑町 紋別市オホーツク森林公園前の道

コメント：オホーツク森林公園を観光して駐車場から出たら街路樹がとても美しかったので駐車場に引き返して撮影。

樹木の根元には緑とのコントラスト映えるカラフルな花が植えてあり素敵だと思った。

撮影を開始すると緑の市バスが走ってきた。更にテンションが上がった瞬間でした。



北造協サポーター「ほくぞう」

北造協サポーター「ほくぞう」は、北海道に生息するエゾリス。まちの緑を守るため、造園建設業者の若手社員を口うるさく指導する。

厳寒期でも冬眠しない働き者。

木の実をせっせと植えて緑を増やすのが大好き。

するどいしっぽをノコの代わりにして剪定作業もこなし、樹木を育てている。



総務委員会

委員長 廣部 修平

副委員長	池田 智仁・大川 澄雄
	大友 淳・鎌田 浩
	久恵 信一・武田 久
	田森 宣行・中峰 勝美
	廣澤 隆・真鍋 昌市
	三栖 裕司・森 正光



シンボルマークのコンセプト

正三角形のグリーンのフォルムは北海道の代表樹エゾマツが天空に伸びてゆくさまを、白い3本のウェーブは大地を流れる川を示す。中央下のブルーの楕円は樹の幹を、それに続く楕円群は庭石を表し、協会の堅い結束と広がる交流を意図している。

一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会

札幌市中央区南1条東1丁目 太平洋興発ビル
TEL 011-221-4451/FAX 011-232-5611